

わたしたちの奄美、 わたしたちで守ろう。

Let's protect Amami's native species by ourselves.

» 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産登録を目指す奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのこととを十分に理解し、安易に島へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防 3 原則



» 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するため防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。



本県の外来種の詳しい情報については！ 鹿児島県 外来種

検索

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。
URL <http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



奄美群島にお住まいの方向け ポトス(オウゴンカズラ) 防除マニュアル

→ ポトスは鹿児島県に影響を及ぼす外来種のリストにおいて、遺棄・導入・逸出防止等のための重点的な普及啓発が必要な種とする「重点啓発種」として選定されています。



わたしたちの奄美、
わたしたちで守ろう。



Let's protect Amami's native species by ourselves.



ポトス(オウゴンカズラ)ってこんな植物



ポトス(オウゴンカズラ)

サトイモ科 ハブカズラ属 ▶ 東南アジア原産
学名 : *Epipremnum aureum*
鹿児島県カテゴリー : 重点啓発種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
クローン繁殖	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
抜き取り	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

特徴 サトイモ科のツル植物で、茎から付着根と呼ばれる根を伸ばして樹木に張り付きます。大きくなれば長さが 10m 以上にもなります。ほとんど開花・結実しません。

葉 葉は柄の部分を含めて、長さ 50 ~ 100cm、幅 20 ~ 40cm になります。光沢があり、斑と呼ばれる白いまだら模様があります。

根 樹幹や地面を這う茎の節から根を出します。

繁殖 ポトスはクローンで繁殖します。野外のものは地面を這った茎から根を伸ばして繁殖します。また、人家の庭で育てられていることがあります。そこから逸出すると繁殖して増える可能性があります。



ポトス(オウゴンカズラ)による影響

侵入すると、木に巻き付いたり、地面を這ったりして、大きな葉で光を遮ってしまうため、そこに元々いた在来の植物が生育できなくなるおそれがあります。



ポトス(オウゴンカズラ)の防除方法

ここを
チェック!

主な生育地

人家周辺の森林の林縁

刈り取り(可能な限り抜き取り)

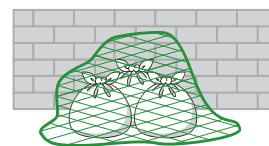
時期 ● 通年 クローン繁殖しているため、見つけ次第除去する

除去
方法



地面から抜き取ったポトス

廃棄
方法



樹木などに張り付いているものや地面を這っているものを含めた全体を **根元から切斷して除去する**

地面に這っている茎を残すと再生するため、茎が残らないように丁寧に除去する

除去直後の茎は再生能力があるため、運搬時に飛散しないようにビニール袋に詰めて燃えるゴミにだす

※詳しくは各自治体のゴミの収集、分別ルールをご確認ください。

除去直後の茎は再生能力があるので取り扱いに注意!

根絶
までの
流れ

駆除作業の 1 ~ 2 カ月後にその場所を確認し、残った根や茎から再生していないか確認しましょう。再生している場合は再度駆除を行いましょう。種をほとんど作らないので、根や茎を完全に除去できれば、1 年で駆除できます。